ボーリング柱状図

調　査　名　モノレール千城台駅自由通路昇降機設置地質調査業務委託

ボーリング№　No 1

事業・工事名

シート№

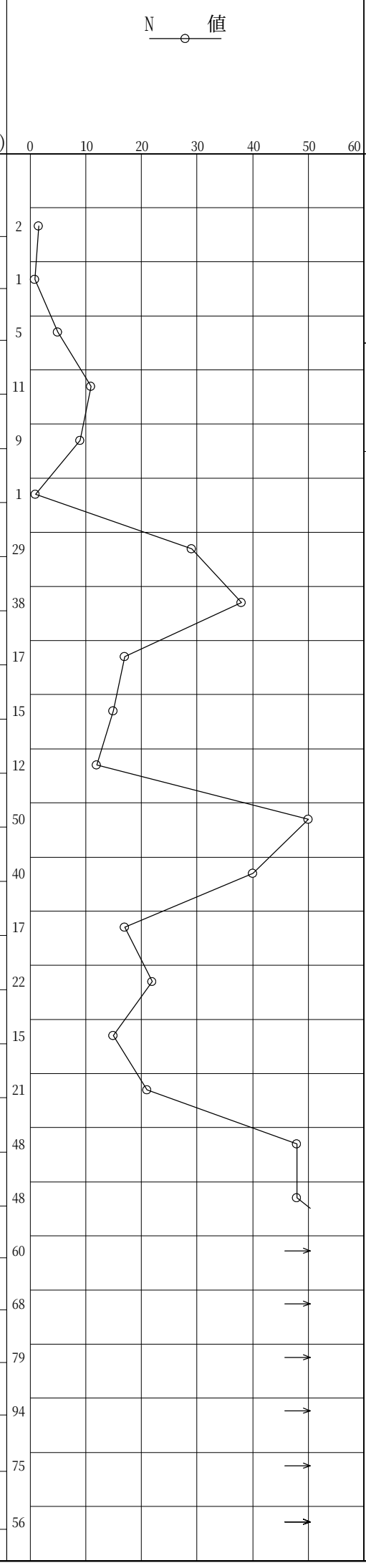
ボーリング名	No 1	**調査位置**	千葉市若葉区千城台西2丁目地内			**北緯**	35° 37' 21"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			**調査期間**	平成 21年 9月 1日 ～ 21年 9月 2日	**東経**	140° 11' 18"
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	KBM +0.453m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90°	**使用機種**	
総掘進長	25.42m							**試錐機**	YBM50	**ハンマー落下用具**	自動落下
								エンジン	NFD－9	**ポンプ**	YBM GP－5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2	-1.85	2.30	2.30		ローム	茶褐		軟	0.40mまではアスファルト舗装の路盤。舗装厚5cm 以深は地山の関東ローム層。軽石粒を含む火山灰質粘性土からなる。 層下部1.70m以深は粘土化が進行しており、含水状態は高位で軟らかい。
3 4	-3.90	2.05	4.35		凝灰質粘土	乳褐灰		中位	古期ロームに相当する均質な凝灰質粘土。粘性に極めて富んでいる。 火山砂や細砂を含む。浸透水によって飽和し含水状態は高位。 別孔にて不撹乱試料採取。
5	-5.40	1.50	5.85		粘土混じり細砂	暗黄灰	緩		凝灰質粘土層に挟在する細砂層。 砂層の挟在からみて、古期ロームの堆積環境は水中であったと推定される。 4.85mまでは粘土分の混入多い。含水状態は中位。
6	-6.35	0.95	6.80		凝灰質粘土	乳灰		極軟	下部凝灰質粘土層。含水状態は高位で非常に軟らかい。概ね均質な層相にある
7 8	-8.45	2.10	8.90		細砂	暗黄褐	中位～密		下総層群成田砂層に対比される洪積砂質土層の最上部層。 やや砂粒子粗く中砂分を含む。わずかにシルト薄層を挟むが概ね均質。 不飽和状態にあり含水状態は低位。 洪積層であることから液状化の可能性は低いとみられる。
9 10 11	-11.35	2.90	11.80		シルト混じり細砂	暗黄灰	中位		粒子均一な細砂とシルトの混合土、層相は細砂優勢である。 本層から地下水が賦存しており、含水状態は中位～高位。
12 13 14 15 16 17	-17.55	6.20	18.00		細砂	暗黄灰	密～中位		洪積砂質土層の主層を構成する均一細砂層。層上部は酸化鉄凝集して固結状。 16m付近には半固結状態にあるシルト薄層が挟在して互層状。層理発達する。 含水状態は概ね中位。
18 19 20 21 22 23 24 25	-24.97	7.42	25.42		細砂	暗黄灰	極密		調査地の工学的な基盤層（支持層・耐震基盤）を構成する洪積砂質土層。 砂粒子概ね均一な細砂～微細砂であり、混入物は認められない。 非常に良く締まっており、含水状態は中位～低位。

孔内水位(m)／測定月日：9/2 10.50

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1 / 20	1 / 18		2 / 38	2
1.53					
2.15	1 / 35			1 / 35	1
2.50					
3.15	1	2	2	5 / 30	5
3.45					
4.15	2	3	6	11 / 30	11
4.45					
5.15	2	3	4	9 / 30	9
5.45					
6.15	1 / 30			1 / 30	1
6.45					
7.15	8	10	11	29 / 30	29
7.45					
8.15	12	13	13	38 / 30	38
8.45					
9.15	6	7	4	17 / 30	17
9.45					
10.15	3	5	7	15 / 30	15
10.45					
11.15	4	4	4	12 / 30	12
11.45					
12.15	16	20	14	50 / 30	50
12.45					
13.15	10	13	17	40 / 30	40
13.45					
14.15	5	5	7	17 / 30	17
14.45					
15.15	6	7	9	22 / 30	22
15.45					
16.15	3	5	7	15 / 30	15
16.45					
17.15	7	6	8	21 / 30	21
17.45					
18.15	12	16	20	48 / 30	48
18.45					
19.15	13	17	18	48 / 30	48
19.45					
20.15	16	20	14 / 5	50 / 25	60
20.40					
21.15	17	27	6 / 2	50 / 22	68
21.37					
22.15	18	32 / 9		50 / 19	79
22.34					
23.15	22	28 / 6		50 / 16	94
23.31					
24.15	20	30		50 / 20	75
24.35					
25.15	19	20	11 / 7	50 / 27	56
25.42					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.50	孔内水平載荷試験
5.50	孔内水平載荷試験

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.15	P-1	Ⓟ	物理試験	
2.15	P-2	Ⓟ	簡易粒度試験	
3.00	T-1	Ⓣ	物理・力学試験	
4.15	P-4	Ⓟ	簡易粒度試験	
5.15	P-5	Ⓟ	物理試験	
6.15	P-6	Ⓟ	物理試験	
7.15	P-7	Ⓟ	物理試験	
8.15	P-8	Ⓟ	簡易粒度試験	
9.15	P-9	Ⓟ	簡易粒度試験	
10.15	P-10	Ⓟ	物理試験	
11.15	P-11	Ⓟ	簡易粒度試験	
12.15	P-12	Ⓟ	簡易粒度試験	
13.15	P-13	Ⓟ	簡易粒度試験	
14.15	P-14	Ⓟ	簡易粒度試験	
15.15	P-15	Ⓟ	簡易粒度試験	
16.15	P-16	Ⓟ	簡易粒度試験	
17.15	P-17	Ⓟ	簡易粒度試験	
18.15	P-18	Ⓟ	簡易粒度試験	9/1
19.15	P-19	Ⓟ	簡易粒度試験	
20.15	P-20	Ⓟ	簡易粒度試験	
21.15	P-21	Ⓟ	簡易粒度試験	
22.15	P-22	Ⓟ	簡易粒度試験	
23.15	P-23	Ⓟ	簡易粒度試験	
24.15	P-24	Ⓟ	簡易粒度試験	
25.15	P-25	Ⓟ	簡易粒度試験	9/2